

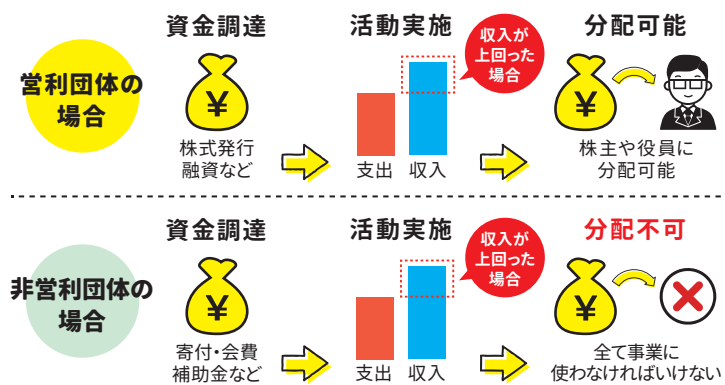
市民活動・虎の巻

研究テーマ 『「非営利」ってどういうこと?』

NPO法人や市民活動団体を始めとする非営利団体が活動する中でぶつかりがちな「お金を稼いでもいい?」「非営利ってどういうこと?」という疑問。お金を貰うことそのものは営利活動ではなく、端的に答えると非営利団体もお金を稼いで構いません。「非営利」の意味をしっかりと理解した上で、適度にお金を稼いで、活動の持続と課題の解決を達成させましょう!

1 営利団体と非営利団体はどう違う?

非営利団体の活動にも当然経費がかかるため、その経費をまかなわなければ活動を続けられませんので、イベントの参加費や会費などから収入を得ることは問題ありません。収入から支出を差し引いた残りのお金を営利団体では「利益」、非営利団体では「剰余金」と言いますが、営利団体では利益を株主などに分配出来る一方で、非営利団体は剰余金を分配することは出来ず、全て事業に使う必要があります。また、団体を解散した後に残るお金や資産(残余財産と言います)を分配することも出来ません。



2 剰余金の使い道

必要以上にお金を貯め込まず、事業に必要な資金として活用するのが基本です。広報費、物品購入などのほか、以下の視点にも留意して公益のため計画的に使いましょう。

①利用者に還元する

提供サービスの価格を下げて利用者に還元します。価格が下がった分、利用者の利益は増し、収支の差は縮むことで価格の適正化が図られます。

②設備、備品の修繕や更新に備える

設備を買い替えたり、衣装等の備品の修繕にかかる費用は、活動を続ければ定期的に必要となります。毎期の剰余金を計画的に留保し、まとまった支出に備えましょう。

we can do it!

私たちは

〇〇ができます!

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん! 困りごと、協力してほしいことはありますか? 私たちが力になりますよ!

「浦瀬町奏楽保存会」は、神楽舞の実演・指導ができます!

毎年の祭礼にて神楽舞を奉納することで、浦瀬町に明治時代から受け継がれてきた神楽舞の伝承を行っています。依頼があれば、イベントや祭礼での神楽舞の実演や、小中学生への神楽舞指導ができます。



協力してほしいこと

活動メンバー(男女問わず)と、神楽舞に関する物品(衣装、太鼓など)の寄贈を募集中。

活用しよう! 協働マッチングリスト

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります!

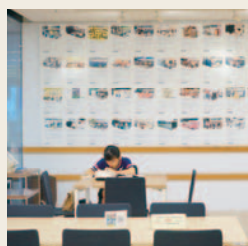


information

センターからのお知らせ

活動紹介・作品展示におススメ! / 協働センターの壁面展示

協働センターのロビーには無料で利用できる非営利団体の活動発表用の展示スペースがあります。使い方はいろいろ! 展示用備品のレンタルもできます。サークルの作品展示や、活動紹介などにいかがですか?



【展示期間】
2週間以内

【利用申込】
協働センター窓口または
電話でお申込みください

※展示予定日の6カ月前より予約受付
※個人の利用はできません

展示
スペース

【正面壁】幅5m80cm×高さ1m70cm
【協働ルーム脇壁】幅6m50cm×高さ2m50cm
【BCホール脇壁】幅6m×高さ1m75cm
【第3協働ルームガラス面】

協働センター / Q&A
よく寄せられる
ご相談

Q. 非営利活動で人件費を払っても問題ない?

A. 非営利性とは利益を分配しないということで、人件費を支払ってはいけないということではありません。事業を行うにあたっての謝礼や給与の支払いは認められています。

Q. 非営利活動にも税金はかかる?

A. NPO法人、任意団体ともに活動状況に応じて色々な税金が課せられます。また減免制度もあります。ご相談を承りますので、詳しくはお問合せください。

2019.9.1 (vol.81) FREE 【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザ アオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail.kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

要チェック! タイムリーな情報と協働センターの日常

f 「ながおか市民協働センター」 t 「@nagaoka_kyodo」 i 「@mytown0258」

知る、つながる、好きになる ながおか市民活動情報誌



Racotte
vol.81

発行 ● ながおか市民協働センター

2019
9
FREE

インタビュー
interview

食事でスポーツマンを支えるランナー管理栄養士

山岸美恵子さん



寺泊の豊かさを子どもたちの
成長に活かすアウトドア保育士

太田真さん・真耶さん

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ
FMながおか 80.7MHz
ながおかの市民活動紹介番組
放送時間 10分程度
第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト
コライト、見ないと!
https://nkyod.org
協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこっでのバックナンバーも閲覧できます。

●活動PickUp!

○産後ケアハウス ねんねこ ○KAWAROCK
○Good Rice Field 与板 ○きよらく 魚楽

●市民活動・虎の巻

○『「非営利」ってどういうこと?』

●私たちは〇〇ができます!

○浦瀬町奏楽保存会

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きました。

活動の根っこ
がんばるアスリートも
食事で応援します。
山岸美恵子



山岸 美恵子さん(56歳)
管理栄養士

1963年、旧与板町生まれ。マ
ラソンが趣味で月に300kmほ
ど走る。2015年スポーツキッ
チン長岡を創立し、食事提供
のほか講演会講師も務める。



●山岸さんが作るご飯は多世代から好評。体調や要
望に合わせて内容を変更することもあるほど、サポー
トがきめ細やかです。

「野外保育」という選択肢づくり 夫婦でつむぐ保育の多様性

全国で広がる、自然体験を基軸にした野外
保育活動「森のようちえん」。寺泊の志戸橋地
域にも、海遊びや、野菜栽培、ごはん作り、虫とり
など、子ども自身がやりたい事を選び、その中
で学んでいく「海辺のこども園かいじやり」という
保育施設ができました。ここを運営する太田真
さんと真耶さん夫婦は、海岸線沿いにある自宅
を解放し、平日と月2回の週末に、子どもの気が
すむまでとことん付き合おうと奮闘しています。

二人の出会いが保育士として就職した長野
県安曇野市内にある「森のようちえん」時代。
「将来的に、子どもと野菜づくりや、料理など、生
活自体をつくるような保育施設を開きたいと話
してきました」。前職では、既存の保育とは全く
異なる、野外保育を始める先生の姿があり、事
業着手に不安はあまりなかったそう。「ただ、夫
婦でやることには、家庭と保育との折り合いが

つけられるか心配でした。しかし、移住後に勤め
た出雲崎町内の保育施設で、きめ細やかな保
育をしている先生夫婦と出会い、夢であった保
育施設開園への想いが高まりました。

2015年、二人は海も山もある豊かな自然に
惹かれて寺泊へ移住。まずは月に2日の親子体
験活動を始め、2019年からは平日の預かり保
育を開始しました。「お隣さんが子どもたちのた
めならと山や畑を貸してくれています。ここは協
力して生きてきた地域だから…と、いつも気
にかけてくれるのです。人を思いやること、協力し
合うことなど、ここにある全てを子どもたちに感
じて欲しいですね」。周囲の人たちの歩む姿や、
声援を力に二人が開いたこの場所は、子どもた
ちが自然の中で多くの人と出会ったり、人々に
多様な保育のあり方を知ってもらい入りが口に
なっています。



活動の根っこ
自然と
地域と
繋がり合う保育
太田真
真耶

太田 真さん(35歳)・真耶さん(34歳)
保育士／海辺のこども園かいじやり

1984年加茂市生まれの真さんと
1985年長野県上田市生まれの真耶
さん。2015年に長野県から移住し、野
外保育活動を開始。現在は4人の子
どもが通う平日保育も展開中。



●雨の日には、雨水を集めて大きな水たまり作りに励む
子ども達。遊びながらも自ら考え選び、試行錯誤の中で
学びを得てほしいと、子どもたちを見守っています。



活動PickUp!

産後ケアハウス ねんねこ

助産師がいる親子の癒しのスペースを運営



育児に孤独を感じたり、多様な育児情報に翻弄される人が
増えています。そんな、お母さんたちの子育ての不安や悩みに
対し、サポートできる場所が必要だと、2018年4月希望ヶ丘に
開設された産後ケアハウスねんねこ。市内で活動する助産
師が母子に寄添い相談対応しています。主に妊娠中から未
就園児を持つお母さんを対象に、母子の気分転換、お友達
づくり、赤ちゃんの初めてのお出かけの場として利用できます。

KAWAROCK

音楽でまちを元気に!



川口地域に縁のあるアマチュアミュージシャンで立ち上
げ、イベントの企画・運営をしたり、地域のまつりや敬老会な
どに出演しています。また、地域の子どもから大人まで、ギター
などの楽器に気軽に触れる機会をつくりたいという想いから、
『カワロック・ミュージック・スクール』を参加費無料で開催
しています。今後も「音楽でまちを元気に」を合言葉に、地元
川口はもちろん、長岡市全体を盛り上げていきたいです。

みんなの声

「これも協働!?」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿方法

投稿フォームを使う

協働センター窓口で投稿する

QRコードから投稿フォームへアクセス
してください。

協働センター窓口を設置されている
「みんなの声」コーナーからも投稿できます。



投稿者
おたんごちゃん
さん

こないだの地震、びっくりしました。うちは2世帯住宅なのでおばあちゃんを連れて近所のお寺がある高台に逃げました。逃げるときにおばあちゃんが、2件隣の独り暮らしのおばあちゃんに「おめさんも来なせ!」と声をかけて一緒に逃げました。普段からお茶のみで家を行き来しているからこそその気遣いだなと思います。日頃からの近所付き合いって大事ななと感じた瞬間でした。

投稿者
トマト
さん

このコーナーを目にして、昔大学祭の実行委員会で頑張ったことを思い出しました。先輩も後輩も個性はバラバラでしたが、だからこそ上手にいったと思います。

Good Rice Field 与板

与板の良い田んぼを次代に継承



与板で農家の若手の会を作りたいという先輩農家の方
からの発案で結成。現在は、地元与板小学校で、食育から
稲作体験や野菜栽培の指導など、農業全般に対しての興
味を育てる活動をしています。また、地元のイベントへ出店
協力や県外にも積極的に出向いて情報発信。今教えてい
る子どもたちが農業の楽しさを知り、「農家」という職業に興
味を持ってくれるようなキッカケづくりを続けていきます。

ぎょうく 魚楽

障がい児の就労体験受け入れ



古くから蔵王橋周辺で商売をしており、地域への恩返しや
誰かのためになる活動ができないかと考えていたとき、障が
いを持つ子どもたちの就労体験を行う「プレジョブながお
か」の活動を知りました。2019年5月より受け入れを始め、お
店の清掃などを手伝ってもらっています。活動後は、みんな
で反省会を行い、できるだけ子どもが自分で考えて作業が
できるよう工夫し、仕事のやりがいや楽しさを伝えています。